

年報

私たちの

平成 26 年度

Annual Report 2014



公益社団法人

茨城県理学療法士会

Ibaraki Physical Therapy Association

目次

1. 巻頭著・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.1
2. 平成26年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業・・・・・・・・P.2
3. 表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.7
4. 平成26年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・P.8
 - (1) 北茨城地域自立支援センター・・・・・・・・P.8
 - (2) 介護予防事業・・・・・・・・・・・・・・・・P.11
 - (3) 県・市町村・関連団体事業への理学療法士派遣・・・・・・・・P.14
 - (4) 学術及び科学技術の振興事業・・・・・・・・P.20
 - (5) 普及啓発事業・・・・・・・・・・・・・・・・P.27
 - (6) 会員に関する事業・・・・・・・・・・・・・・・・P.30
 - (7) 各種会議・・・・・・・・・・・・・・・・P.32
5. 2014年度 会員動向・・・・・・・・・・・・・・・・P.33
6. 平成26年度役員・局長・部長・委員長・代議員名簿・・・・・・・・P.35
7. 平成26年度賛助会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・P.37
8. 賛助会員広告・・・・・・・・・・・・・・・・P.38

巻頭著



公益社団法人 茨城県理学療法士会
第9代会長 齊藤秀之
(医療法人社団 筑波記念会)

本会は平成25年4月1日に公益社団法人へと移行し、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する公益事業を担う団体に生まれ変わりました。2年目となる平成26年度を振り返ると、これから構築される茨城型地域ケアシステムに参画するきっかけの年になったと感じています。

本会として中心的に取り組んでいる公益事業である北茨城市在宅医療介護連携拠点事業は2年目を終えました。北茨城市在宅医療・介護連携推進協議会と北茨城市在宅医療介護連携推進事業検討部会を運営し、多職種による研修会や住民リーダーを養成する研修会など、平成25年度よりも充実した土台づくりが実施できました。また、北茨城地域自立支援センターに従事する本会理学療法士を中心に、20名以上のプロボノ登録した会員等とともに、退院(所)前・時在宅訪問事業、共同利用型訪問リハビリテーション事業を積極的に展開しました。また、事例検討会を主催し、多職種によるオープンカンファレンスを実施できたことは大きな実績となりました。こうした取り組みを、リハビリテーション・ケア合同研究大会 長崎2014において報告し、連携部門の優秀賞を頂きました。平成27年度も本事業を最終事業年度として茨城県から継続委託されます。大きく花を咲かせるためにも会員諸氏の協力を今まで以上にお願いしたいと思います。

年度末には茨城県から地域ケアシステム機能強化事業の委託を受け対応しました。地域包括支援センター等が実施する地域ケアシステムのサービス調整会議に医療的視点から助言等を希望する市町村に対し、県と本会が理学療法士の派遣調整および派遣を行い、地域包括支援センターの機能強化を図る事業です。県や市町村からも高評価を受けており、市町村担当理学療法士の配置の意義につながると考えています。今年度は、茨城県や市町村から多くの公的委員の就任依頼があり、政策立案過程に理学療法士の意志を反映できる機会が増えました。とりわけ、いばらき高齢者プラン推進委員会、茨城県障害者施策推進協議会の委員は意義があると思っています。また、多くの外部団体から講師のご依頼を受け、対応しました。こうした活動は、本会が公益団体として進む道標と思っています。今後更に、多くの会員にこうした活動を担っていただく組織整備が必要と思っています。

茨城県作業療法士会、茨城県言語聴覚士会とともに構成していた茨城県リハ3士会連絡協議会を、一般社団法人茨城県リハビリテーション専門職協会に移行し、3士会の更なる連携強化を図る覚悟をし、全国地域リハビリテーション合同研修大会 in 茨城 2015 を誘致することができました。7月19日・20日につくば国際会議場で開催されますので、多くの皆様に参加いただきたいと思います。

学術活動として、第18回茨城県理学療法士学会を開催しました。平成25年度に引き続き、茨城県臨床工学技士会と初めて本格的な学術交流の場を持つことができました。こうした取り組みから、茨城県内で呼吸療法認定士の更新要件に係る研修会の開催を実現したいと考えています。

事務所機能においては事務職員2名体制を強化し、事業部門を支える管理部門を充実・整備を進めました。地区ブロック活動の推進に加えて、市町村担当理学療法士を位置づけ、日本理学療法士協会のマネジメントにより介護予防と地域包括ケア推進リーダー研修を多くの会員の参加により実施できました。今年度も継続して、地域包括ケアシステムへの対応に資する研修会を茨城県や市町村とともに構築していく準備していかなければならないと考えています。

今後、我々理学療法士を取り巻く社会環境は2025年に向けて大きく変化していきます。地域包括ケアシステム構築に向けた理学療法士の人材育成は急務です。公益法人にふさわしい統治体制の更なる確立とともに、県民の保健・医療・福祉の推進に努めてまいります。

関係各位におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成26年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業

I 「土台づくり」事業

1 多職種同士の顔の見える関係の構築のための「きっかけづくり」

○北茨城市在宅医療介護連携推進協議会

- ・構成：委員15名（内、会長1名、副会長1名）

日立保健所、北茨城市民病院、北茨城歯科医師会、高萩薬剤師会、茨城県看護協会、茨城県作業療法士会、茨城県言語聴覚士会、茨城県社会福祉士会、茨城県介護福祉士会、北茨城市地域包括支援センター、北茨城市社会福祉協議会、茨城県ケアマネジャー協会、北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会、北茨城市内病院職員、学識経験者）

- ・開催日：第1回 平成26年5月27日
第2回 平成26年9月12日
第3回 平成26年12月19日
第4回 平成27年3月9日

- ・内容：事業内容の検討と報告、懸案事項の検討、その他

○北茨城市在宅医療介護連携推進事業検討部会

- ・構成：委員14名（内、部会長1名、副部会長1名）

日立保健所、北茨城市内病院長、北茨城歯科医師会、高萩薬剤師会、茨城県看護協会、茨城県リハビリテーション専門職協会、北茨城市地域包括支援センター、北茨城市社会福祉協議会、茨城県ケアマネジャー協会、北茨城市地域ケア会議、北茨城市地域ケアシステムサービス調整会議、北茨城市連合民生委員・児童委員協議会、学識経験者

- ・開催日：第1回 平成26年7月30日
第2回 平成26年10月16日
第3回 平成27年2月6日

- ・内容：実施事業内容等の検討

◇検討部会内ワーキンググループの設置・開催

- 1) 研修事業企画のためのワーキング
- 2) 実地型研修企画のためのワーキング

3) 介護予防フェスティバル企画のためのワーキング

4) 仕組み事業における課題抽出のためのワーキング

2 専門職種に対する資質向上のための「人づくり」

○視察調査

- ・実施日と施設：平成26年11月14日 介護老人保健施設おはよう館
介護老人保健施設ひだまり倶楽部
平成26年2月9日 リハ特化型デイサービス
夢なかま運動倶楽部
デイサービスセンターまんまる

○リハ専門職研修会

- ・テーマ：「リハビリテーション専門職の施設間・職種間連携Part1」
～北茨城市のリハ専門職の業務初回と連携について日頃思うこと～
- ・講師：北茨城市内医療・介護施設勤務 理学療法士3名、作業療法士4名、言語聴覚士1名
- ・開催日：平成26年12月10日
- ・会場：北茨城市民病院 大会議室
- ・参加者：47名（北茨城市及び近隣市に勤務するリハ専門職及び関連職従事者）

○多職種職研修会 ※北茨城市コミュニティケア研究会共催

- ・テーマ：「医療／介護現場での事故に対する法的責任とその予防」
- ・講師：法テラスいばらき事務所 弁護士 飯田 健太郎 氏
介護老人保健施設ひだまり倶楽部 支援相談室長 藤橋 隼 氏
医療法人秀仁会ケアプランセンターおはよう館管理者 根本 優子 氏
- ・開催日：平成26年11月21日
- ・会場：北茨城市役所 402会議室
- ・参加者：124名（北茨城市内及び近隣市に勤務する非リハ専門職）

○地域リーダー研修会 北茨城版 ＊テキスト作成

- ・テーマ：北茨城市の地域づくり
- ・カリキュラム
◇在宅医療・介護と障害者に係る職種の紹介

就業支援の立場から：

講師 茨城県立北茨城特別支援学校 進路指導主事 川崎 夏織 氏

民生委員児童委員の立場から：

講師 北茨城市連合民生委員児童委員協議会 室橋 博子 氏

在宅介護支援センターの立場から：

講師 北茨城市社会福祉協議会 在宅介護支援センターのぞみ 原 一治 氏

介護職の立場から：

講師 有限会社 ライフサポート平賀 平賀 としえ 氏

ケアマネージャーの立場から：

講師 北茨城市ケアマネージャー連絡会 根本 優子 氏

薬剤師の立場から：

講師 高萩地区薬剤師会 菊地 勝 氏

訪問看護師の立場から：

講師 有限会社 在宅介護プラン こごみ 永山 陽子 氏

講師 医療法人桜悠会 訪問看護ステーションはんどはあと 進藤 由佳 氏

リハビリテーション専門職の立場から：

講師（公社）茨城県理学療法士会 北茨城地域自立支援センター 鈴木 和江 氏

◇在宅医療・介護における市民と専門職のチーム作り

～Team STEPPS（チームステップス）によるメンタルバリアの解消～

講師 医療法人社団 寿量会 熊本機能病院 副院長 渡邊 進 氏

（神経内科・リハビリテーション科、日本リハビリテーション医学会専門医）

◇ワークショップ

・開催日：平成27年1月25日

・会場：北茨城市役所 402会議室

・受講者：53名

（北茨城市内民生・児童委員、地区長、ボランティアリーダー、北茨城市内の各職能団体推薦者）

○実地型研修会

◇巡回診療

・実施日：平成27年1月21日

・受講者：3名（平成25年度地域リーダー研修 北茨城版修了者）

・実施内容：北茨城市民病院巡回診療同行・見学

◇訪問リハビリテーション

・実施日：平成27年2月4日

・受講者：1名（平成25年度地域リーダー研修 北茨城版修了者）

・実施内容：北茨城地域自立支援センターの訪問への同行・見学

◇療養病床

・実施日：平成27年3月4日

・受講者：2名（平成25年度地域リーダー研修 北茨城版修了者）

・実施内容：瀧病院及び北茨城市民病院の療養病床見学

3 県民に対する在宅医療・介護の理解を深めるための「意識づくり」

○講演会・シンポジウム

◇介護予防フェスティバルin北茨城2015

・テーマ：「今からできる健康づくりから甥の支度まで～地域でいきいき生きる～」

・講師：横谷 省治（筑波大学医学医療系 北茨城地域医療教育ステーション）

・開催日：平成27年2月14日

・会場：北茨城市民病院4階大会議室

・参加者：241名（一般市民、行政関係者、各種職能団体関係者）

・介護予防イベント

[ミニ講話]

テーマ「膝痛・腰痛予防体操」講師 佐藤 誠氏

(理学療法士・日立製作所ひたちなか総合病院)

「認知症予防体操」講師 直井 洋明氏(理学療法士・土浦市役所)

「あなたの元気の源は？」講師 大関 三枝氏

(保健師・公益社団法人茨城県看護協会)

[シルバーリハビリ体操実演・体験] 北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会

日立地区ブロック会員 栗城身和子(やすらぎの丘温泉病院)

2月14日、北茨城市民病院にて開催された介護予防フェスティバルに参加させていただきました。講演会と介護予防イベントとしてのミニ講話・シルバーリハビリ体操という盛りだくさんの内容に、ボランティアの方々も含め総勢241名の参加がありました。茨城県看護協会・北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会との共同介護予防イベントに参加して下さっていた方々も多く、講演や体操に熱心に耳を傾け取り組む姿に、改めて北茨城市の方々の健康に対する意識の高さを感じました。今後もこのような事業に参加させていただき、より多くの方々に「介護予防」について伝えていくお手伝いできればと思っております。



○茨城県いばきらTVにおける北茨城地域自立支援センター事業広報及実施事業(介護予防フェスティバル)の広報[平成27年1月5日～3月29日]

○茨城新聞社政策「いばらき介護ハンドブック」への広告掲載による北茨城地域自立支援センター事業の広報[平成26年9月発行・介護予防フェスティバルで一般配布]

○北茨城市報への広報記事掲載[平成26年4月から平成27年3月]

○茨城新聞への広報記事掲載[平成27年1月4日掲載]

Ⅱ「仕組みづくり」事業

○退院(所)時あるいは退院(所)前在宅訪問モデル事業

- ・対象：入院中の当事者・家族および地域包括支援センター、医療・介護施設、他
- ・内容：退院前カンファレンスへの参加、家屋調査、環境調整、多職種への助言、退院後の生活の確認

【事業実績】

7月より北茨城市立総合病院協力のもと開始。

延べ6件（事業に係る訪問・情報収集活動 21件）

退院前訪問および退院後訪問	: 2件
退院前訪問（ご本人は同行せず）およびカンファレンス参加	: 1件
退院前訪問のみ	: 2件
退院前カンファレンスのみ参加	: 1件

○共同利用型訪問リハビリテーションモデル事業

- ・対象：在宅生活の支援を必要としている高齢者、障害児・者とその家族、および地域包括支援センター、医療・介護施設、他
- ・内容：ケアマネジャー、住民からの相談に対する、自宅で行う運動の提案、動作指導、過ごし方についての助言・指導、住宅改修への助言、福祉用具の紹介
多職種への助言等

【相談件数】延べ 83件（平均 6.8件/月）

＜相談元内訳＞ケアマネジャー 39件、地域包括支援センター 13件、
在宅介護支援センター 2件、住民 17件、看護師 2件
理学療法士 1件、 その他 9件

＜相談後の活動＞訪問延べ件数 151件（平均 12.6件/月）

「ケアマネジャーとの同行訪問」	66件
「当センター単独の訪問」	68件
「相談のみ」	7件

【デイサービスへの支援】

2～3回/月 1回に2名程度に対し評価・助言を実施

○訪問リハビリテーションサポートセンター推進事業

- ・対象：当事者（高齢者、障害児・者）・家族、地域包括支援センター、医療・介護施設、訪問看護ステーション、住民、行政、他
- ・内容：平日の電話対応やFAX、メールでの訪問リハビリテーションを主としたリハビリテーションに関する相談を受けるコールセンターの啓発と実践を行い、可能な限り、そのニーズを適切なりハビリテーションサービス等につなげるように連携・調整を図る。
- ・相談件数：5件

○モデル事業に係る事例検討会

- ・事例：「歩行能力が低下した介護保険申請後からかかわった一人暮らし高齢者について」
- ・開催日：平成27年3月16日
- ・会場：北茨城市役所
- ・参加者：41名（日立保健所管内医療・福祉業務従事者）

Ⅲ その他

- ・茨城県看護協会・北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会・茨城県理学療法士会共催

○介護予防キャラバン

内 容：講演会、ミニ講話、シルバーリハビリ体操
介護予防キャラバン

開催日：平成26年10月7日

会 場：北茨城市市民ふれあいセンター

内 容：体力測定・健康相談

- ・「介護予防フェスティバルin北茨城2015」と同期開催

開催日：平成27年2月14日

会 場：北茨城市民病院

表彰

【 功労賞 】

松井 弘子 様 平成 13～16 年度 理事／広報部
 平成 19 年度 全国研修会広報部長
 平成 21～22 年度 理事／広報部
 平成 23 年度 代議員
 平成 25～26 年度 代議員

【 功績賞 】

四宮 祥司 様 入会年数 20 年
石川 公久 様 入会年数 22 年
草野 公俊 様 入会年数 28 年
野口 信子 様 入会年数 26 年
赤津 安恵美 様 入会年数 28 年
上岡 裕美子 様 入会年数 28 年
上野 晃 様 入会年数 26 年
園田 信一郎 様 入会年数 27 年

【日本理学療法士協会 協会賞功労分野】

佐藤 弘行 様 入会年数 29 年 平成 13～22 年度 茨城県理学療法士会 会長

【 学術賞 】

鈴木 康裕 様 （ 筑波大学付属病院 ）
瀧原 純 様 （ 土浦協同病院 ）

【 学会賞 】

倉形 裕史 様

所属：東京医科大学茨城医療センター リハビリテーション療法部

演題名：維持期虚血性心疾患患者に対する監視型外来心臓リハビリテーション効果の
年代別の特徴に関する検討

平成26年度活動報告

(1) 北茨城地域自立支援センター

鈴木和江（北茨城地域自立支援センター）

開設から約2年が経過し地域の住民の方、事業所の方のご理解、ご協力いただき、活動しています。市内の事業所、ボランティアとのネットワークが少しずつではありますが出来てきています。

退院（所）時あるいは退院（所）前在宅訪問事業

北茨城市民病院を中心に協力いただき、退院前の家屋調査に担当ケアマネジャーと同行して動作の確認、福祉用具選定、住宅改修などについて検討し、その結果を病院の理学療法士、作業療法士、看護師、MSWと共有し退院支援を行いました。

<実績>延べ6件（事業に係る訪問・情報収集活動 21件）

退院前訪問および退院後訪問	: 2件
退院前訪問（ご本人は同行せず）およびカンファレンス参加	: 1件
退院前訪問のみ	: 2件
退院前カンファレンスのみ参加	: 1件

共同利用型訪問リハビリテーション事業

ケアマネジャーや行政、住民の方々からご相談いただき、訪問や電話で対応しました。

【相談件数】延べ 83件（平均 6.8件/月）

<相談元内訳>ケアマネジャー 39件、地域包括支援センター 13件、在宅介護支援センター 2件、住民 17件、看護師 2件、理学療法士 1件、その他 9件

<相談後の活動>訪問延べ件数 151件（平均 12.6件/月）

「ケアマネジャーとの同行訪問」66件

「当センター単独の訪問」68件

⇒初回訪問後、支援計画を立て定期的に訪問している。（1週間後、1～3ヶ月後）

「相談のみ」7件

【デイサービスへの支援】2～3回/月 1回に2名程度評価を行い助言する。計33回訪問し、66名の方について助言、指導を行いました。

【広報周知活動】シルバーリハビリ体操教室での講話、当センターの紹介、やすらぎの丘温泉病院地域リハ・ステーション研修会への参加、高萩協同病院茶話会への参加、同病院や(株)日立製作所 多賀総合病院への退院（所）前在宅訪問対象者紹介の働きかけ

訪問リハビリテーションサポートセンター推進事業

訪問リハを行っている事業所の紹介や多職種でのかわりについて助言をしました。

【相談件数】2件

その他

【プロボノの活動について】

登録者は、理学療法士を中心に25名で、県南からの登録が多かったのですが、今年度新たに日立医療圏から9名に登録いただき、訪問への同行や相談受付などしていただき活動頻度も増えております。今

後とも、ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

<実績>延べ 86 件、登録者のうち 23 名が参加

<4・5月の活動>

相談件数：7 件（うちケアマネジャーからが 5 件）

相談内容：利用者の評価と生活助言（2 件）、自宅での運動指導（1 件）、施設入所者への運動指導等
上記、ボランティア会員の方と一緒に訪問させていただきました。ボランティアには、新たに 7 名の登録をいただき、計 14 名になりました。より良い取り組みができ感謝しております。

また、以前視察させていただいた特別養護老人ホームから職員研修のご依頼があり、「動作介助」について講師をしました。施設側からよい感想をいただき、今後も年数回実施していく予定です。

このように相談も徐々に増え、今まで潜在化していたニーズを伺う機会を得ることができ、活動の成果が見えるようになってきました。理学療法士だからできる地域の専門職の資質向上や多職種協働によるネットワークづくりを今後も進めていきたいと思ひます。

また、今年度から北茨城市在宅介護支援センター地域ケア会議委員を委嘱されました。市が抱える個別事例の課題について多職種で検討し施策につなげる会議で、月 1 回開催しています。地域ケアシステム・地域包括ケアシステムの中で、予後予測や目標到達の手法提案など専門性を発信できるようにしていきたく思ひています。

会員の皆様には、今後ともご指導・ご協力よろしくお願ひいたします。

<6～8月の活動>

6～8 月の活動についてご報告いたします。相談件数は、13 件、今年度の合計は 20 件になりました。ケアマネジャーからの相談以外にも、地域包括支援センター、在宅介護支援センターからの相談、老人保健施設の入所者の相談（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、施設看護師、通所リハ管理者、介護士などで検討）などを実施しました。また、特別養護老人ホームの職員研修の定期的な講師、北茨城市立総合病院の地域リハ・ステーション事業での講師での住民への啓発活動など内容も幅広くなっています。個別の評価を通して、他職種の日常のケアへの気づきを生む機会が増え、リハビリテーションの視点を活かせるようなサービス提供につながればと思ひています。また、住民の方々についても直接助言ができる機会が増えればと思ひています。地域の住民、事業所との関係が構築できているのを少しずつ実感しています。

ボランティアの方にも、これらの活動に参加していただき、様々な面から課題をみることでできていると思ひます。たくさんのご参加お待ちしております。

今後ともご指導、ご協力よろしくお願ひいたします

<9・10月の活動>

10 月 4 日に開催されました、第 49 回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 埼玉で、「北茨城市における理学療法士の自助・互助にかかわる活動ー北茨城地域自立支援センターを立ち上げてー」というテーマで発表してきました。内容は、北茨城市地域包括支援センター、その他関係事業所とのかかわりについて、現在の活動の中心である、ケアマネジャーとの同行訪問、県内セラピストについてのプロボ

ノ活動などについてお話ししました。会場はいっぱい、地域包括ケアシステムについて関心が高まっているということを実感しました。

活動については、9月くらいから半日で1~2件の訪問をしています。利用者に合わせて、1~3ヶ月毎に定期的に訪問しています。県北地区からもボランティア登録をしていただき始めています。ボランティアの方々にご協力いただきながら、北茨城に根ざした活動ができるようにしたいと思います。今後ともご指導・ご協力よろしくお願いいたします。

<11・12月の活動>

新たに県北ブロックの方7名にボランティア登録いただき、11月から計25名の方々に活動しております。ご都合に合わせて参加してもらっていますが、11月は延べ14名に活動していただきました。相談件数も徐々に増えており、週3~4日は、1~2件のご自宅に伺って支援をしています。依頼者は、ケアマネジャーが多いですが、介護保険対象外の高齢者への支援も数件あり、少しずつ増えてきている状況です。1ヶ月毎に定期的に訪問する方も増えており、このように訪問する機会が増えています。

退院(所)前在宅訪問についても、北茨城市民病院にご協力いただき、退院前、退院後1ヶ月後の訪問をしました。入院中から退院後まで多職種がご本人、ご家族にかかわることができ、安心した生活をするための1つの支援になっているのではないかと数例ではありますが感じています。

また、11月から事務所を移転しました。今後とも、皆様のご協力、ご指導よろしくお願いいたします。

<新事務所>

住 所 〒319-1704
北茨城市大津町北町3-6-11
電話番号 0293-44-3616 (変更なし)
FAX 番号 0293-44-3617 (変更なし)
E-mail pt-kitaibaraki@seagreen.ocn.ne.jp (変更なし)

<1・2月の活動>

センターの活動につきましては、ご協力・ご理解いただきありがとうございます。

現在の主な活動は、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、市内居宅介護支援事業所、特養から依頼があり、ほぼ毎日1件以上は直接ご自宅、施設に訪問し、支援している状況です。

今回は、実際の支援についてご紹介したいと思います。相談内容は、自宅でする運動の提案や住宅改修にかかわることが多いです。初回は、ケアマネジャーなど依頼いただいた方に同行して行うようにし、その後もできるだけ同行してもらおうようにしていますが、月1回の訪問ではフォローしきれないような、閉じこもり傾向の方の依頼や身体状況の方もいるので、2週間に1回訪問する方も増えており単独でも訪問しています。また、依頼を受けた方のご家族の話をきいていくうちに、その方にも運動の支援をしたり、過ごし方について提案したりしています。シルバーリハビリ指導士会、ボランティア連絡会や民生委員・児童委員とのつながりも少しずつできているので、地域の方々からより身近に感じてもらえるような活動をしていきたいと思っています。



(2) 介護予防事業

介護予防キャラバン報告

日時：平成 26 年 7 月 13 日（日）10:00～14:00

会場：つくば国際大学第 1 キャンパス 1 階特設ブース

内容：体力測定 理学療法相談

土浦地区会員 山口修史（神立病院）・渡辺大吾（神立病院）



7月13日、つくば国際大学第1キャンパスにて開催された介護予防キャラバンに参加してきました。当日は体力測定に41名、理学療法相談に1名と多くの方々が参加されました。天候は万全ではありませんでしたが、参加者の方々の笑顔も多く見られ、楽しく円滑に運営を行うことが出来ました。

今回の介護予防キャラバンを通して、地域住民の方々の健康に対する関心の高さを感じたと共に、健康な身体を維持するためにどうしたらよいか分からない方が多いことにも気づきました。このような事業は、地域住民の方々にとって理学療法をより身近な存在に感じて頂き、疑問や不安を小さなうちに解決していくことが出来る良い機会だと思います。今回の活動は、私たちにとって改めて介護予防の重要性を感じた貴重な体験となりました。

古河ふれあい広場2014

古河・坂東地区会員 廣嶋俊秀（古河病院）

9月27日、『古河ふれあい広場2014』における介護予防キャラバンに参加させて頂きました。汗が出るほどの暑さの中、198名もの多くの方が介護予防キャラバンのブースに来て下さいました。参加して頂いた地区ブロック会員の方々、初めて参加される方ばかりでしたが、参加して頂いた会員の誰

もが、来て下さった方々に笑顔で対応していました。介護予防キャラバンに参加して思うことは、『やっぱり理学療法士っていいな!!』と…。介護予防キャラバンでは、普段とは違う職場で働いている方々との会話と来て下さった地域の方々への声掛けや対応等から、色々なことを学び刺激を与えてもらえます。普段の業務とは違った経験が出来る場所だと思いますので、これからも地区ブロック会員の方々のご協力をお願いします。公益推進事業部の浅見さんをはじめ、参加して頂いた地区ブロック会員の方々へ、一緒に介護予防キャラバンを行なえたことに感謝申し上げます。

健康づくりキャンペーン

つくば地区会員 上澤匡秀（筑波メディカルセンター病院）

9月27日、つくばイオンモールにて介護予防キャラバンが開催され参加をしてきました。当日は天候も良く、小さいお子様から高齢者の方々まで幅広く体力測定・理学療法相談を含め228名と多くの方々にご参加を頂きました。皆さん真剣になって体力測定に臨まれ、出た記録に一喜一憂されている様子がとても印象的でした。そのため現場の雰囲気はとても盛況でしたが運営も無事、円滑に行うことが出来ました。理学療法相談では私たち療法士の言葉に真剣に耳を傾けながら、また積極的な質問を多く頂け、地域住民の方々の健康に対する意識の高さが伺えました。今後高齢化社会が高まるなか、医療機関は機能の分化や再編が求められ、より地域・在宅の現場へと役割や求められるニーズが変化していくと思われまます。今後、私たち理学療法士がより地域住民の方々の身近な存在となり、地域社会へ積極的に参加、活動できる機会が増えたらと感じる貴重な機会となりました。

健康スポーツフェスティバル

<目的> 国営ひたち海浜公園内で実施している運動スポーツプログラムの活性化

<日時> 平成26年10月12日（13日天候不順にて中止）

<場所> 国営ひたち海浜公園

<内容> ●介護予防キャラバン

体力測定（測定者数：172名）・理学療法相談（相談件数：5件）

●ミニ講座

講師：嶽本伸敏（ひたちの整形外科）タイトル：「目指せ美ボディ！ひめトレ体験会」

講師：佐藤誠（日製ひたちなか総合病院）タイトル：「関節痛・転倒予防に対する運動」

常陸太田・ひたちなか地区会員 桜山真也（日製ひたちなか総合病院）

今回、初めて地域事業に参加させていただき、地域貢献できたことは大変光栄に思います。普段病院内で業務をしている私は、病院内での活動を通して地域の方々と交流を図ることができ、地域の場での理学療法士としての役割を、身を持って体験でき大変貴重な経験となりました。この経験で、理学療法士としてのニーズを再認識することができ、よりいっそう知識・技術を磨いていかなければならないと感じております。今後、理学療法士としての業務の場を病院内に留めるのではなく、地域にも目を向け介護予防事業などの社会的ニーズにも対応し幅広い分野で活動していきたいと考えております。その為にも、今回のような地域事業に積極的に参加し地域の方々と直接関わりながら理学療法士としての役割を全うしていきたいと思っております。



祭りゆうき2014

筑西・下妻地区ブロック会員 岩田佳（結城病院）

10月25日、26日に開催された祭りゆうき2014。子供からお年寄りまで楽しめるイベントとして開催されました。当日は天候も良く、10月末でも暑さを感じるほどでした。この祭りにて私たち理学療法士は、介護予防キャラバン事業として体力測定と理学療法相談を行い、参加した地区ブロック会員でそれぞれ役割をもって取り組みました。私は測定結果をアドバイスする役割を中心に行いました。皆さんご自身の体力に興味を持っており、2日間で350名と多くの方々に参加して頂きました。私たち地区ブロック会員はなかなか地域交流の場が少ない中で、今回のような企画に参加できたことが今後の理学療法士としての活動の場を広げるきっかけになると感じました。高齢化社会が進むなか、理学療法士として地域に密着した存在である必要性を感じた貴重な機会でした。最後に、公益事業推進部の福島さんをはじめ、参加して頂いた地区ブロック会員の方々へ感謝申し上げます。

かわちフェスタ2014

取手・龍ヶ崎地区ブロック会員 飯塚優（介護老人保健施設いなしきの郷）

11月2日稲敷郡河内町の中央公民館にて「かわちフェスタ 2014」が開催され、私は本会公益事業の一環として行われている介護予防キャラバンに初めて参加させて頂きました。

当日は、天候にも恵まれ、河内町地域包括支援センターの皆様にもご協力頂き、総勢154名もの方々が参加されました。内容としては、握力、片脚立位保持時間などの各身体機能測定、測定結果のフィードバック、理学療法相談を行いました。

関わりの中で、ご自身の身体に不安な事があってもどこに相談したらいいのか、どの様に身体作りをしていったらいいのか分からないといった声が多く聞かれました。健康に対する意識や興味があっても、具体的なサービスや支援、運動方法についての情報が不足している現状があります。私達理学療法士が地域の方々に、提供出来ることがまだ多くあり、このような活動をより多くの地域で行っていくことが必要であると感じます。

今回の経験を通し、病院内、施設内の理学療法の枠を超え、地域を対象とした働きかけを行うことの必要性を再確認することが出来ました。

みんなの生活展

筑西・下妻地区ブロック会員 上村忠正（湖南病院）

11月22日、みんなの生活展（しもだて地域交流センターアルテリオ）における介護予防キャラバンに参加させて頂きました。来場者が58名と、いつもよりは少ないとの事でしたが、始めて参加した自分にとっては、一人ひとり地域の方と向き合う事が出来、充実した時間を送ることができました。時間によっては相談待ちの列が出来る程でした。運動は大切だけど、どんなことをしてよいか分からないと思っている方が大多数でした。不安、恥ずかしいなどでためらう方もいましたが、体力測定をすることにより状態を知っていただくことで、健康寿命を延ばすきっかけ作りになったのではないかと思います。参加者自ら予防・改善しようと意識が変わっていく姿勢が垣間見られ、幅広い年齢層に関心を持っていただいたのと同時に、理学療法士の職業を広く知ってもらうことができました。また、公益事業推進部の佐川さんをはじめ、参加して頂いた地区ブロック会員の方々と一緒に行えたことに感謝申し上げます。

シニアカレッジ

公益事業推進部長 村田康成（介護老人保健施設サン・テレーズ）

11月26日、土浦市総合福祉会館において土浦市社会福祉協議会主催のシニアカレッジに参加しました。このシニアカレッジは、高齢者の生きがいや健康づくりを目的とした高齢福祉事業の1つで、5回シリーズの1枠を本会が担当、「自分の体力を知ろう」というタイトル下で体力測定を45名の参加者に対し実施しました。体力測定後は老年症候群の早期発見、早期対応の重要性や体力測定の意義等を内容とした講話も行いました。雨天にもかかわらず多くの高齢者が参加され、微力ながら地域住民への介護予防の啓発、健康増進へ寄与できたのではないかと感じました。

（3）県・市町村・関連団体事業への理学療法士派遣

1）茨城県への委員などの派遣

- ① いばらき高齢者プラン推進委員会 委員 派遣：1名
平成26年7月2日、10月8日、12月3日、平成27年2月4日
- ② 茨城県介護予防推進協議会 委員 派遣：1名
平成26年9月30日
- ③ 茨城県機能訓練等サービスの在り方検討委員会 委員 派遣：1名
平成26年12月26日、平成27年2月4日
- ④ 茨城県障害者施策推進協議会 委員 派遣：1名
平成27年2月12日
- ⑤ 茨城県介護機器普及事業運営協議会 委員 派遣：1名
平成26年11月12日
- ⑥ 茨城県高次脳機能障害者普及促進協議会 委員 派遣：1名
平成27年3月11日
- ⑦ 茨城県型地域包括ケアシステム検討委員会 委員 派遣：1名
茨城県型地域包括ケアシステム検討委員会WT会議 平成27年3月24日
- ⑧ 筑西保健所管内在宅医療推進会議 委員 派遣：1名

平成26年8月8日、平成27年2月25日

筑西市地域医療連携推進事業意見交換会

平成26年11月26日

- ⑨ いばらき成長産業振興協議会 会員 派遣：1名

平成26年7月18日

- ⑩ 茨城県地域ケアシステム機能強化事業への協力：地域ケア会議への理学療法士派遣

3市町村（鉾田市、桜川市、土浦市） 派遣：4回 8名

2) 市町村への委員などの派遣

- ① つくば市高齢者福祉推進会議 委員 派遣：1名

平成26年5月9日、6月25日、9月1日、9月25日、10月10日、

平成27年1月14日

- ② 土浦市老人保健福祉及び介護保険計画推進会議 委員 派遣：1名

平成26年6月26日、8月21日、10月15日、11月19日、平成27年2月12日

- ③ 土浦市在宅医療・介護連携推進協議会 委員 派遣：1名

平成26年8月5日、10月9日、12月17日、平成27年2月13日

土浦市在宅医療・介護連携推進協議会 実務者会議 委員 派遣：1名

平成26年7月31日、8月28日、11月7日、平成27年1月30日、3月24日

土浦市在宅医療介護研修会・意見交換会

平成26年9月26日、11月19日

- ④ 土浦市地域包括支援センター運営協議会 委員 派遣：1名

平成26年10月30日

- ⑤ 日立市在宅医療介護連携推進拠点事業 委員 派遣：1名

シンポジウム出席 平成27年3月15日

- ⑥ 日立地域包括支援センター地域ケア会議 委員 派遣：1名

平成26年7月17日、10月31日、平成27年1月28日、3月24日

3) 関連団体への委員などの派遣・協力

- ① 一般社団法人茨城県医師会

茨城県地域医療推進協議会 派遣：1名

平成26年5月13日

- ② 公益社団法人茨城県歯科医師会

茨城県在宅歯科医療推進協議会 派遣：1名

平成27年2月24日、3月17日

- ③ 「茨城における小児の発達を支える地域リハビリテーションを考える会」への協力

（世話人派遣を含む）総会・研修会 派遣：1名 平成26年7月13日

- ④ 「茨城県回復期リハビリテーション病棟の会」への協力（世話人派遣を含む）

総会・研修会 派遣：1名 平成26年10月11日

(公社) 茨城県看護協会「まちの保健室」との共同保健活動

<平成 26 年度第 1 回>

期日：平成 26 年 6 月 26 日 (木)
場所：鹿島ショッピングセンター「チェリオ」
内容：体力測定及び理学療法相談 測定者：15 名

<平成 26 年度第 2 回>

期日：平成 26 年 8 月 9 日 (土) 13:30~16:00
場所：常陸大宮ショッピングセンター「ピサーロ」
内容：体力測定・理学療法相談 参加者：体力測定 19 名 リハビリ相談 1 名

遠藤由紀 (株日立製作所 ひたちなか総合病院)

今回、初めて参加させて頂きました。今まで、病院以外の場で活動する機会がなかったため、実際に地域の方々の健康やリハビリに関する悩みを聞くことができ、とても貴重な経験となりました。また、このような事業を通して、理学療法士としてもっと地域社会に貢献できるようになりたいと、改めて考えることができました。今後もこのような事業に積極的に参加していきたいと思えます。

<平成 26 年度第 3 回>

期日：平成 26 年 8 月 24 日 (日) 13:30~16:00
場所：イオンモール水戸内原 2F「ラッシュ」前
内容：体力測定・理学療法相談 参加者：体力測定 97 名 理学療法相談 2 名

<平成 26 年度第 4 回>

期日：平成 26 年 10 月 9 日 (木) 11:00~12:00
場所：茨城県保健衛生会館
内容：体力測定・理学療法相談 参加者：27 名

<平成 26 年度第 5 回>

期日：平成 26 年 10 月 23 日 (木) 13:30~16:00
場所：鹿島ショッピングセンター「チェリオ」
内容：体力測定・理学療法相談 参加者：8 名

<平成 26 年度第 6 回> 第 39 回水戸市産業祭 (まちの保健室と共同ブース)

期日：平成 26 年 11 月 15 日 (土)・16 日 (日) 9:00~16:00
場所：水戸市総合運動公園
内容：体力測定・理学療法相談
参加者： 体力測定： 288 名 理学療法相談： 17 名 (2 日間合計)

渡辺聡美 (ともべ訪問看護ステーション)

まちの保健室事業に地域医療福祉推進部の部員として担当させていただきました。今回は、祭りへの

出展ということもあり、たくさんの地域の方々に参加していただきました。

理学療法相談では、日常生活での注意点や適切な運動の仕方など、幅広い領域のご相談をいただきました。理学療法士に気軽に相談できる場所が求められていると感じました。

また、「今年はこの体力測定を楽しみに来たよ」「去年もやっていたから、またやろうと思って探したんだよ」など、定期的に体力測定をされることを楽しみに来られる方もいらっしゃって、活動を継続することが地域の方々の健康意識の向上に繋がることを体感することもできました。

<平成 26 年度第 7 回>

期日：平成 27 年 2 月 26 日（木）

場所：鹿島ショッピングセンター「チェリオ」

内容：体力測定及び理学療法相談 測定者：6 名

茨城県高校野球連盟 メディカルサポート会員派遣

<第 66 回春季関東地区高校野球いばらき大会>

平成 26 年 5 月 4 日～5 日（準決勝・決勝） 水戸市民球場

岩淵慎也（筑波大学附属病院）

今回高校野球春季茨城県大会、準決勝（5/4）決勝（5/5）のサポートに参加し、多くの選手が慢性的な障害を抱えて試合に望んでいることを改めて実感しました。これは他のスポーツにおいても同様な課題があるのではと思います。メディカルサポートは慢性的な障害に繋がるリスクを早期に発見し、選手個人やチームに伝えるといった重要なポストを担っていると思います。今後もこのサポート事業に参加することで、少しでも若い選手の手助けになればと思います。

<第 96 回全国高等学校野球選手権茨城大会>

平成 26 年 7 月 22 日～25 日（準々決勝・準決勝・決勝） 水戸市民球場・ひたちなか市民球場

島田崇宏（広瀬医院）

「今回のサポートでは、問診やフィジカルチェック、ストレッチ指導を行うとともに場合によってはアイシングやテーピングも実施しました。特に試合中は、ケースバイケースで迅速に対応しなくてはならないので、普段の臨床とは違った緊張感があり、良い経験ができました。また夏の大会は、三年生の最後の大会であり、病院で診ている時とは違った表情がありました。そんな選手たちが思い切りプレーできるよう、今後もサポートを行っていきたいと感じました。」

<第 67 回秋季関東地区高校野球茨城大会>

平成 26 年 10 月 4 日、7 日 準決勝・決勝） ひたちなか市民球場 4 名

茨城県立健康プラザ「介護予防体操相談支援者制度」への協力事業

派遣：5 名

- ① 健康プラザにおいて、3 級指導士養成講習会の運営補助及び一部科目（解剖運動学：神経及び復習解説）の講義

- ② 市町村で開催する3級指導士養成講習会において、講義の一部（解剖運動学：神経及び復習解説）を担当
- ③ 健康プラザにおいて、介護福祉士を対象とした介護予防体操研修会の講師又はその運営補助
- ④ 健康プラザスタッフとの連絡会議出席
- ⑤ その他
茨城県シルバーリハビリ体操指導士フォローアップ事業への参加

（公社）茨城県看護協会・北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会との共同介護予防事業報告

期日：平成26年10月7日（火） 13:30～15:30

場所：北茨城市民ふれあいセンター

内容：シルバーリハビリ体操教室の参加者への体力測定・理学療法相談 参加者：61名



山梨忍（やすらぎの丘温泉病院）

看護協会・シルバーリハビリ体操指導士・包括支援センターの方々との開催も今回で5回目となり、参加者が61名と年々増加しています。とても賑やかな雰囲気の中で測定を実施する一方で、真剣に理学療法相談を受ける姿には、地域住民の健康に対する関心の高さが感じられます。短時間で60人以上とタイトな予定でしたが、地区会員の方々の臨機応変な対応は素晴らしく、なんとか乗り切る事ができました。帰り際、参加者から「また来年、元気な姿で会えるように頑張るわ」と声をかけて頂き、改めてこの活動の大切さを感じる事ができました。

その他派遣事業

- ・茨城県福祉サービス振興会への講師派遣：介護職初任者向け講座 「介護基本技術 トランスファー」
平成26年4月24日 茨城県総合福祉会館 派遣：2名
- ・一般社団法人茨城県福祉サービス振興会：介護職中堅向け講座 「介護職の腰痛予防」
平成26年9月18日 茨城県総合福祉会館 派遣：2名
- ・一般社団法人茨城県福祉サービス振興会：介護職中堅向け講座 「リハビリテーションの理解と介護技術への応用」 平成26年10月27日 茨城県総合福祉会館 派遣：2名

・茨城県福祉サービス振興会への講師派遣：茨城県福祉用具専門相談員指定講習・茨城県福祉用具供給事業従事者研修会 平成26年5月17日、6月8日 茨城県総合福祉会館 派遣：2名

・茨城県ケアマネジャー協会への講師派遣：平成26年度茨城県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ・更新研修（実務経験者） 平成26年5月18日、6月1日 茨城県総合福祉会館 派遣：2名

・研修会講師派遣（一般社団法人茨城県介護福祉士会）
平成26年度リフトリーダー研修会（腰痛の原因と対策） 平成26年7月29日
茨城県総合福祉会館 派遣：1名

・研修会講師派遣（茨城県教育委員会：対象 県立特別支援学校職員）
平成26年度腰痛等対策研修 平成26年7月30日 茨城県庁 派遣：1名

・公益社団法人茨城県栄養士会：茨城県栄養学術講習会
平成26年11月26日 派遣：1名

・公益社団法人茨城県看護協会：平成26年度訪問看護師養成講習会
平成26年11月27日 派遣：1名

・県西地区シルバーリハビリ体操指導士会：シルバーリハビリ体操指導士フォローアップ研修会
平成26年12月9日 派遣：1名

・茨城県：平成26年度地域包括支援センター職員研修（現任者）
平成27年1月23日 派遣：1名

・茨城県理容組合水戸支部：腰痛予防や腰痛悪化防止について
平成27年2月3日 派遣：1名

・阿見町社会福祉課：阿見町在宅医療・介護連携拠点事業「地域リーダー養成研修会」
在宅リハビリテーション
平成27年2月8日 派遣：1名

・境町シルバーリハビリ体操指導士会：境町シルバーリハビリ体操指導士会スキルアップ研修会
平成27年2月16日 派遣：1名

・日立保健所：介護予防事業担当者研修会 在宅におけるリハビリテーションの実際 ～運動器の機能向上、膝痛・腰痛対策～

平成27年2月18日 派遣：1名

- ・講座への講師派遣（公益財団法人常陽藝文センター）：藝文学苑 水戸教室（肩こり・腰痛予防のストレッチ&筋トレ）平成26年10月から6か月間 第1・第3木曜日 派遣：1名

（4）学術及び科学技術の振興事業

平成26年度 新人教育プログラム研修会

- ・期 日：平成26年4月27日 会 場：茨城県立医療大学
テーマ：A-1 理学療法と倫理 参加者：132名
テーマ：A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む) 参加者：124名
テーマ：D-2 生涯学習と理学療法の専門性 参加者：150名
- ・期 日：平成26年5月18日 会 場：日立総合病院
テーマ：A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む） 参加者：140名
テーマ：D-4 理学療法士のための医療政策論 参加者：121名
- ・期 日：平成26年6月22日 会 場：茨城県立医療大学
テーマ：D-3 理学療法の研究方法論（EBPT 含む） 参加者：102名
テーマ：C-5 地域リハビリテーション（生活環境支援を含む） 参加者：143名
テーマ：A-5 理学療法における関連法規（労働法含む） 参加者：153名
テーマ：E-3 国際社会と理学療法 参加者：118名
- ・期 日：平成26年8月31日 会 場：協和中央病院
テーマ：B-3 統計方法論 参加者：85名
テーマ：C-4 高齢者の理学療法 参加者：99名
テーマ：E-2 ティーチングとコーチング 参加者：70名
テーマ：B-1 一次救命処置と基本処置 参加者：101名
- ・期 日：平成26年9月14日 会 場：鹿島勤労文化会館
テーマ：B-4 症例報告・発表の仕方 参加者：58名
テーマ：A-2 協会組織と生涯学習システム 参加者：118名
テーマ：C-2 運動器疾患の理学療法 参加者：88名
テーマ：C-1 神経系疾患の理学療法 参加者：79名
- ・期 日：平成26年10月5日 会 場：茨城県立健康プラザ
テーマ：B-2 クリニカルリーズニング 参加者：30名
テーマ：D-1 社会の中の理学療法 参加者：21名
テーマ：C-3 内部障害の理学療法 参加者：24名
テーマ：E-1 臨床実習指導方法論 参加者：12名
- ・補講：平成27年2月18日～3月26日 会 場：茨城県保健衛生会館
18テーマ 参加者：70名

平成 26 年度 理学療法士講習会一覧<茨城県内開催>

<<基本編>>

～理論～

「臨床に役立つ物理療法の基本的な考え方」

日時：平成 26 年 7 月 6 日 参加者：15 名 会場：国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

講師(所属)：菅原仁先生(東京工科大学) 日比野至先生(名古屋学院大学)

前重伯壮先生(神戸大学大学院) 山口智史先生(慶應大学大学院)

「慢性閉塞性肺疾患患者への呼吸リハビリテーションの基礎と臨床」

日時：未定 参加者：19 名 会場：協和中央病院

講師(所属)：飯塚眞喜人先生(昭和大学) 富田和秀先生(茨城県立医療大学)

堀江健夫先生(前橋赤十字病院) 高橋晃弘先生(アール医療福祉専門学校)

「切断と義足に関する理学療法の基本となる考え方」

日時：平成 26 年 9 月 6 日～7 日 参加者：29 名 会場：土浦協同病院

講師(所属)：小嶋功先生(神戸学院大学) 瀧原純先生(土浦協同病院)

寺師浩人先生(神戸大学形成外科 教授) 片田圭一先生(石川県立中央病院)

内田みさ子先生(茨城県厚生農業協同組合 総合病院土浦協同病院)

「補装具と住環境支援に関する理学療法の基本となる考え方」

日時：平成 26 年 9 月 20 日～21 日 参加者：18 名(20 日) 17 名(21 日)

会場：日立総合病院

講師(所属)：大峯三郎先生(九州栄養 福祉大学) 河添竜志郎先生(株式会社くますま)

清宮清美先生(埼玉県総合リハビリテーションセンター)

橘香織先生(茨城県立医療大学)

「スポーツ理学療法に必要な関節の解剖・運動学と代表的疾患の理学療法の展開」

日時：平成 26 年 10 月 19 日 参加者：71 名 会場：女性プラザレイクエコー

講師(所属)：宮川俊平先生(筑波大学大学院スポーツ医学専攻)

竹村雅裕先生(筑波大学大学院スポーツ医学専攻)

田村耕一郎先生(広瀬医院) 鈴木康文先生(つくば国際大学)

「代謝障害に対する理学療法の基本となる考え方」

日時：平成 26 年 12 月 21 日 参加者：52 名 会場：保健衛生会館

講師(所属)：上月正博先生(東北大学大学院)

中川義嗣先生(水戸協同病院 リハビリテーション科)

佐藤真治先生(大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学科准教授)

林久恵先生(名古屋石田学園星城大学リハビリテーション学部 准教授)

「循環器疾患に対する理学療法の基本となる考え方」

日時：平成 27 年 2 月 15 日 参加者：78 名 会場：ひたちなか総合病院

講師(所属)：渡辺重行先生(水戸協同病院 センター長・循環器内科教授)

牧田茂先生(埼玉医科大学国際医療センター心臓リハビリテーション科教授)

木村雅彦先生(北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)

高橋哲也先生（東京工科大学医療保険学部理学療法学科教授）

「発達障がいされた小児期の人々に対する理学療法の進め方」

日時：平成27年3月8日 参加者：68名 会場：茨城県立医療大学

講師(所属)：石川公久先生(筑波大学附属病院) 中徹先生(鈴鹿医療科学大学)

大城昌平先生(聖隷クリストファー大学) 大畑光司先生(京都大学大学院)

～技術～

「筋力増強運動 骨関節系疾患に対する治療手技」

日時：平成26年4月27日 参加者：43名 会場：茨城県立医療大学

講師(所属)：神戸晃男先生(金沢医科大学病院) 板場英行先生(日本理学療法士協会)

高田祐先生(アール医療福祉専門学校) 田中直樹先生(筑波記念病院)

関節可動治療の基本

「運動器系疾患に対する関節可動域治療手技 - 下肢の関節系・筋系障害に起因する治療を中心に - 」

日時：平成26年6月15日 参加者：41名 会場：茨城県立医療大学

講師(所属)：板場英行先生(日本理学療法士協会)

高田祐先生(アール医療福祉専門学校) 田中直樹先生(筑波記念病院)

関節可動治療の基本

「運動器系疾患に対する関節可動域治療手技 - 上肢の関節系・筋系障害に起因する治療を中心に - 」

日時：平成26年7月13日 参加者：35名 会場：茨城県立医療大学

講師(所属)：板場英行先生(日本理学療法士協会)

高田祐先生(アール医療福祉専門学校) 田中直樹先生(筑波記念病院)

「基本動作練習-臥位～歩行-」

日時：平成27年3月1日 参加者：32名 会場：古河病院

≪応用編≫

「今知っておくべき地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割と実践」

日時：平成27年2月21日-22日 参加者：30名 会場：茨城県保健衛生会館

講師(所属)：斉藤秀之先生(筑波記念病院) 宮田昌司先生(医療法人輝生会)

直井洋明先生(土浦市役所) 小山樹先生(ジェネラス)

安倍浩之先生(ふらむはあとリハビリねっと) 大工谷新一先生(岸和田盈進会病院)

「最先端：脳卒中の理学療法診療ガイドライン、歩行分析・練習と病期別理学療法の実践プラス1」

日時：平成26年12月13日・14日 参加者：68名 会場：茨城県立健康プラザ

講師(所属)：増本正太郎先生(茨城県立医療大学) 吉尾雅春先生(千里リハビリテーション病院)

藤沢宏幸先生(東北文化学園大学) 小泉幸毅(小倉リハビリテーション病院)

近藤国嗣先生(東京湾岸リハビリテーション病院、医師) 大塚功先生(相澤病院)

矢野浩二(介護老人保健施設伸寿苑) 三村健(医療法人社団ラポール新潟)

「臨床動作分析の実際」

日時：平成26年8月8日-10日 参加者：22名 会場：アール医療福祉専門学校

講師(所属)：浅井仁先生(金沢大学) 木村貞治先生(信州大学)

藤沢宏幸先生(東北文化学園大学) 望月久先生(文京学院大学)

「脊髄損傷の理学療法」

日時：平成26年9月27日-28日 参加者：30名 会場：茨城県立医療大学

講師(所属)：岩崎洋先生(国立障害者リハビリテーションセンター)

水上昌文先生(茨城県立医療大学) 古関一則先生(茨城県立医療大学付属病院)

戸渡富民広先生(北海道中央労災病院せき損センター)

吉川憲一先生(茨城県立医療大学付属病院)

道木恭子先生(帝京平成大学 ヒューマンケア学部)

「成人片麻痺の運動療法」

日時：平成26年1月10日-12日 参加者：30名 会場：茨城県立医療大学付属病院

講師(所属)：宮本省三(高知医療学院) 富田昌夫(藤田保健衛生大学) 立元寿幸(筑波大学付属病院)

＜地域包括ケアシステム推進リーダー導入研修＞

- ・介護予防推進リーダー導入研修

期 日：平成27年1月17日、3月15日

会 場：茨城県保健衛生会館

参加者：134名

- ・地域包括ケア推進リーダー導入研修

期 日：平成27年1月18日・3月14日

会 場：茨城県保健衛生会館

参加者：153名

理学療法士教育に関する事業

＜茨城県臨床実習連絡協議会＞

理学療法士教育機関と実習受入れ施設の連携・臨床実習に関する合議

期 日：平成26年10月9日

会 場：アール医療福祉専門学校

参加者：11名(うち教員5名)

＜臨床実習指導者研修会＞

平成26年度 茨城県臨床実習指導者研修会

期 日：平成27年2月1日

講義Ⅰ：臨床実習指導総論・教育スキル

講義Ⅱ：学校における臨床実習教育～本学が目指す臨床実習教育～

講義Ⅲ：満足度・達成度の高い臨床実習とは

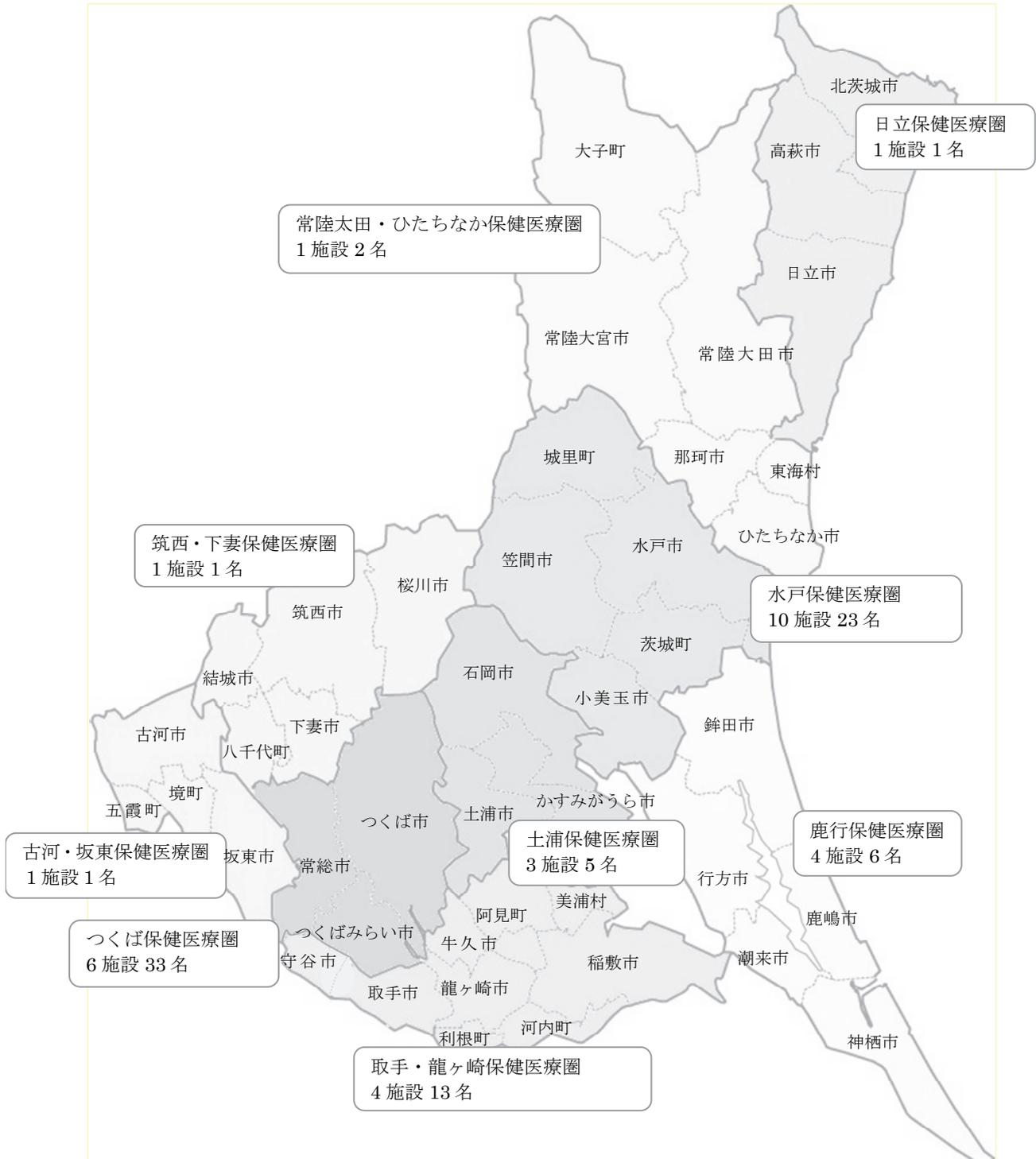
ワークショップ：研修の振り返り 実習に関する振り返り、討論・発表

会 場：茨城県保健衛生会館

参加者：30名

茨城県臨床実習指導者研修会履修者の分布

2015年3月末時点



第49回日本理学療法学会後記

高見友（いちほら病院）

平成26年5月30日～6月1日に行われた第49回日本理学療法学会にて、当院で実施している入谷式足底板について「入谷式足底板における中足骨レベル横アーチパッドが歩行中の踵離地と足尖離地のタイミングに与える影響について」を発表させて頂きました。発表時間10分間、質疑応答7分間と時間を取って頂いたため、活発な意見交換を行うことができました。

また、オープニングレクチャーで行われた元オリンピック陸上選手の為末大さんの講演は私自身を含め若手セラピストが今後の人生の中で理学療法士として何かに挑戦することの大切さという大きなメッセージを頂きました。

最終日に行われたDiane Lee先生の講演では世界レベルのクリニカル・リーズニングを統合システムモデルとして紹介して頂き非常に刺激を受けました。

その他、全国の理学療法士の活動を知る機会となり、当院でも学術活動をより活発にしていきたいと改めて感じました。



第18回茨城県理学療法士学会

テーマ：呼吸ケアにおける理学療法士の役割と可能性

学会長：富田 和秀氏（茨城県立医療大学）

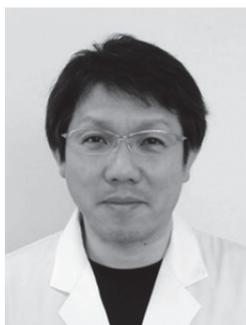
- ・学会長講演「呼吸ケアにおける理学療法士の役割と可能性」
- ・茨城県臨床工学技士会連携特別講演「人工呼吸の基礎と移り変わり」
- ・教育講演1「スポーツ理学療法」
- ・教育講演2「心臓リハビリテーションを考える」

期 日：平成26年7月13日

会 場：つくば国際大学 第1キャンパス

第18回茨城県理学療法士学会を終えて

学会長 富田和秀



「呼吸ケアにおける理学療法士の役割と可能性」のテーマのもと第18回茨城県理学療法士学会が平成26年7月13日（日）につくば国際大学にて開催されました。本年度の学会から、従来の「年末開催」から「夏季開催」に変更されましたが、21演題の口述発表とおおよそ200名を超える多くの参加者のもと盛況に開催することができ、学会長としてご参加いただいた方々ならびに学会の企画・運営に関わった関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

学会長講演では、近未来の呼吸ケアにおいて、理学療法士にはどのような役割

があり、どのような可能性を秘めているのかについて話題を提供しました。呼吸ケアに関する基礎知識や最新の研究成果を臨床に生かすとともに、理学療法士が呼吸ケアに関わるチームの中で中心的役割を担っていただける事を期待しております。また、茨城県臨床工学技士会連携企画の「人工呼吸の基礎と移り変わり」では臨床工学士の立場から人工呼吸器の歴史とその変遷、使用方法やその注意点等について理学療法士にも分かりやすく解説いただきました。教育講演ではスポーツ理学療法や心臓リハビリテーションの各専門領域における基礎知識や最新の知見についてご講演いただき、参加者の皆様方の明日からの臨床に役立つ有益なものであったものと考えます。また、一般演題発表では多数の貴重な発表をいただき、誠に有難うございました。今年度より一般演題の対象者を新人教育プログラムの「履修者」から「修了者」へ変更したことから、より発展的な内容を発表して頂きました。質疑応答の時間も多く設けた事により、活発な意見交換が出来たものと考えます。社会職能局との合同で企画した市民公開講座では、ノルディックウォーキングに関するご講演ならびに実演をしていただきました。100名以上の一般の方々にもご参加いただき、ウォーキングや広く健康に関する一般の方々の関心の高さを改めて窺い知る機会となりました。このような機会を通して、県民の皆様に対する理学療法ならびに健康への関心をより高めるきっかけになれば幸いです。

最後に、本学会を通して参加していただいた方々の学術・臨床レベルの発展、また、茨城県ひいてはわが国のリハビリテーション医療の発展につながることを祈念しております。

平成 26 年度茨城県リハビリテーション専門職団体合同研修会及び納会

厚生部 山本萌々子（茨城西南医療センター病院）

平成 26 年 12 月 23 日、ホテルレイクビュー水戸にて茨城県リハビリテーション専門職団体合同研修会が開催されました。テーマは「地域リハビリテーション活動支援事業におけるリハビリテーション専門職の役割」で村井千賀先生(厚生労働省)に講演をして頂きました。機能回復訓練などの身体機能に対するアプローチだけでなく、対象者を取り巻く環境へのアプローチを他職種や地域と連携を深化していくことの重要性を具体的に学びました。その後の納会では、3士会の共同開催であったため職種を超えて交流することができ有意義な時間を過ごせました。今回、研修会 138 名・納会 77 名と多くのリハビリテーション専門職の方々が参加してくださいました。今後も厚生部では、茨城県リハビリテーションの発展に向け3士会が連携を図っていくための手伝い出来るよう企画・運営に努めてまいりますので、皆様もご参加・協力のほど宜しくお願い致します。



リハビリテーション・ケア合同研究大会 長崎 2014

会報編集部 森田英隆（いちほら病院）

茨城県理学療法士会の代表として齊藤秀之会長がリハビリテーション・ケア合同研究大会長崎2014（11月6日～8日開催）にて一般演題発表（タイトル：「茨城県在宅医療・介護連携拠点事業における茨城県理学療法士会の取り組み -北茨城地域自立支援センターにおける活動を中心に-」）を行い、連携部門で優秀賞に選ばれました。皆様にご協力頂いたプロボノ活動を全国で評価されたことは非常に嬉しい事です。大きな可能性を秘めている本事業に、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

※リハケア合同研究大会のホームページはこちら<http://www.c-linkage.co.jp/rc2014/award.html>

（5）普及啓発事業

Facebook について

広報局長 高橋晃弘（アール医療福祉専門学校）

茨城県理学療法士会では Facebook をはじめました。

Facebook ページでは日本理学療法士協会や本会の主催・後援等の研修会やイベント情報を発信してまいります。ぜひ「いいね！」を押して下さい。

国家試験結果

	出願者数（人）	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（％）
理学療法士国家試験	11596	11129	9315	83.7
（うち新卒者）	10311	9889	8924	90.2
作業療法士国家試験	5661	5474	4740	86.6
（うち新卒者）	4537	4391	4137	94.2
言語聴覚士国家試験		2401	1779	74.1

※厚生労働省 HP より

市民公開講座

日時：平成 26 年 7 月 13 日（日）11:00～12:30

会場：つくば国際大学第 1 キャンパス C101

テーマ：「新たな歩行エクササイズ ノルディックウォーキングーはじめ 4 本、次は 2 本、最後も 4 本が
新常識！？」

講師：地神裕史氏

（東京工科大学 医療保健学部 理学療法学科）

公益事業推進部長 村田康成（介護老人保健施設サン・テレーズ）



7月13日に第18回茨城県理学療法士学会の併催事業として、平成26年度第1回市民公開講座を開催致しました。講師に東京工科大学の地神裕史先生をお招きし、「新たな歩行エクササイズ ノルディックウォーキング～はじめ4本、次は2本、最後も4本が新常識！？～」をテーマにご講演いただきました。内容は、ロコモティブシンドロームの予防をキーワードとして、それに関連するノルディックウォーキングの様々な効果をお話しいただきました。

ノルディックウォーキングは、クロスカントリースキーチームの夏場のトレーニングとしてフィンランドで始まったスポーツで、ポールを使用し、地面を押すことで下肢のみでなく、上肢を使用した全身運動により普通のウォーキングよりエネルギー消費量の増加が見込め、歩行能力の改善、QOLの向上などといった効果があるそうです。講師の先生のユーモアあふれる話し方に加え、県民の方でも理解できるようなわかりやすい内容であったこともあり、聴講されていた方々は、熱心に耳を傾けていました。また、後半には、会場外において実演・体験をしていただき、終わった後も、多くの方が講師の先生の下へ質問に訪れ、県民の方の健康に対する意識の高さが伺えました。

最後に今回、士会員の皆様の積極的な広報活動の甲斐もあり、101名という多くの集客を得られることができました。今後ともどうぞご協力の程、よろしくお願い致します。

茨城県看護協会主催 平成26年度高等学校進路指導担当者会議に参加して

広報局長 高橋晃弘（アール医療福祉専門学校）

平成26年6月6日に茨城県看護協会からお誘いを受けて、平成26年度高等学校進路指導担当者会議に本会を代表して参加してまいりました。今年度で3回目の参加となります。生憎の雨模様でしたが、県内高校の進路指導担当の先生方が68名出席され、会場は熱気であふれていました。

はじめに県内の看護職の状況等について、茨城県保健福祉部医療対策課の大森真由美係長から説明がありました。リハビリ関係の資格について本会から私、作業療法士会から角田和之広報局長と齋藤真行啓発部長、言語聴覚士会から岩崎淳也副会長がそれぞれに専門職の立場から説明を行いました。

質疑応答では高校の先生方から積極的な質問が出ており、医療・福祉系へ進路選択する高校生の関心の高さが伺えました。今後も継続して参加し、啓発活動の一環として活動してまいります。

平成26年度「理学療法の日」作文コンクール

理学療法啓発部 峯岸忍（筑波メディカルセンター病院）



平成26年7月13日、第18回茨城県理学療法士学会内において、平成26年度「理学療法の日」作文コンクール表彰式が執り行われました。

会員の皆様のご協力もあり、「学生の部」、「一般の部」を合わせて141通の応募を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

各部門においてそれぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点が選ばれ、表彰式には受賞者、受賞者のご家族、関係者・学会参加者の方々にご出席いただきました。

応募作品の内容としては、実際にご本人やご家族として理学療法に関わった経験から、機能だけでなく、心のケアにも理学療法士が対応した事や理学療法士を志す内容もありました。また、表彰式で受賞者から理学療法士に対する課題や要望についてご指摘を頂きました。

ご指摘を受けた内容を真摯に受け止めて、患者さんに還元できるように、これからの臨床に励みたいと思います。

理学療法・作業療法・言語聴覚療法見学会報告

理学療法啓発部長 峯岸忍（筑波メディカルセンター病院）

8月18日から8月29日の間に県内の36施設で高校生を対象に理学療法・作業療法・言語聴覚療法の見学会を実施し、212名の参加がありました。

例年と比べ、準備期間が短かったです。協力して下さいました施設・会員の皆様に感謝申し上げます。

参加者からは、「理学療法士の仕事は、大変そうだけど、やりがいのある仕事だと思いました」

「理学療法見学の際に、患者さんの心境などを聞けてためになった」「理学療法について知らないことがあったので、とてもためになることばかりだったのでよかった」との声がありました。

次年度以降も企画しておりますので、引き続きご協力の程、宜しくお願い致します。

11月11日「介護の日」

理学療法啓発部長 峯岸忍（筑波メディカルセンター病院）

皆様、11月11日は介護の日ということをご存知でしょうか？

毎年、茨城県では介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、社会における支え合いや交流を促進することを目的にパネル展示を実施しています。

当士会でも毎年、参加し、県民の皆様に理学療法士会の活動について周知を図っております。

平成26年度は、11月5日（水）から11日（火）まで茨城県庁2階に展示致しました。

いばキラTV

広報局長 高橋晃弘（アール医療福祉専門学校）

茨城県が運営するインターネットテレビ「いばキラTV」から北茨城地域自立支援センターの紹介で齊藤会長とセンターの鈴木さんが取材を受けました。その模様は2月10日（火）12:00～「いばキラ

Station」内の「People!」のコーナーで生配信されました。ビデオオンデマンド配信されていますので、いばキラTVのホームページから「茨城県理学療法士会」で検索していただくと動画を視聴できます。皆さま是非ともご覧ください。

URL : <http://www.ibakira.tv/>



(6) 会員に関する事業

新人オリエンテーション

会報編集部長 森田英隆 (いちほら病院)

平成26年4月27日(日)、6月22日(日)に茨城県立医療大学大講義室にて新人オリエンテーションが開催されました。(公社)茨城県理学療法士会および(公社)日本理学療法士協会の入会案内について庶務部長の高橋千晶さん(水戸済生会総合病院)より説明されました。

免許取得年度は入会割引制度がある事や、会員証カード、福利厚生、(公社)茨城県理学療法士会の活動内容について、新人さんにも理解しやすいよう具体的に丁寧にご説明いただきました。新入会の皆様、本会の活動への積極的なご参加を期待しております。



リハビリテーション業務研修会および山口かずゆき国政報告会

長谷川大悟（サンフラワーひたちなか）

（出席者：佐藤弘行、佐藤尚男、斉藤秀之、大曾根賢一、長谷川大悟）

去る9月20-21日に都内にて日本理学療法士連盟主催のリハビリテーション業務研修会および山口かずゆき国政報告会が行われました。

本研修会は、「今年度報酬改定の狙いとこれからの医療・介護制度の方向性」と題して、元厚生労働省、現国立国際医療研究センターの宇都宮啓先生による講演でした。

その後、山口かずゆき参議院議員国政報告会では、半田一登協会長をはじめ、医療機器メーカー各社、理学療法士として起業している方々も多く参加され、盛大に執り行われました。

初日の講演で印象的だったことは、議論をする際にはエビデンスやアウトカムがなければ話の議論にはならない、一昔前は〇〇が必要だからなど漠然とした意見で物事が決まっていたケースもあったが今日においては、まずデータを示さねばいくら話題性のある題目でもすぐに却下になるとの事でした。現場ではエビデンスの指標だけでは評価出来ない部分も多くあり、それらの構築がすべてとは思いませんが、理学療法士として確固たる治療成績や根拠が示せたとしてもそれを反映させる術を持たねば社会は変わりにくいと思います。技術・知識ありきではなく、それらをもっと世に知って頂くため、『おもいをかたちにしていく』事が必要なのかと思います。

また、地域におけるリハビリテーションの重要性が高まる中で、効果的なリハビリテーションを展開するには知識や技術はもちろんのこと情報やネットワークあるいは政治力も重要であると感じました。

学術活動と政治活動の両輪で活動していくことは、リハビリテーション、医療・介護がいっそう充実し、サービス受給者である国民および提供者であるリハビリテーション専門職の双方がともに豊かとなるのではないのでしょうか。

リハビリテーションへの期待とともに、今後の在り方についてどうあるべきかが問われる時期にもなっております。それは単に学術の研鑽だけにとどまらず専門職としての身分保障などにおいても先導的に活動していかなければならないと感じました。これからの社会の動向に注目し、自らがどうあるべきかを考え行動していかなければと強く感じる研修会となりました。今若き力が必要です。

茨城県作業療法士連盟設立総会・研修会

政治参加検討特別委員会 委員長 国谷伸一（立川記念病院）



日時 平成 26 年 10 月 25 日（土）

場所 アール医療福祉専門学校

内 容 茨城県作業療法士連盟設立総会 17:00~18:00

茨城県作業療法士連盟研修会 18:00~19:00

設立総会には、茨城県作業療法士連盟初代会長に就任した中村茂美氏をはじめ、茨城県作業療法士会会長の大場耕一氏など7名が出席され、規約の確認や会員の定義、会費の徴取等について話された。同日・同会場で行われた研修会は、自由民主党公認茨城県議会議員の石井邦一氏（保健福祉委員会委員）が招かれて講義されていた。参加者は、茨城県理学療法士連盟会長佐藤弘行氏を含む2名の理学療法士が出席し、計14名の参加数であった。具体的な講義内容は、子育て支援、少子・超高齢社会対策、地域包括ケアシステム等についてであった。最後に、今年の12月14日に行われる茨城県議会議員選挙の推薦状を茨城県作業療法士会会長の大場耕一氏が手渡して今回の研修会を終了した。

(7) 各種会議

第41回定時総会

期日：平成26年6月22日 会場：茨城県立医療大学 参加者：118名 委任状：975通

理事会

平成26年度第1回理事会 平成26年5月16日（金） 16:00~21:00

平成26年度第2回理事会 平成26年11月17日（月） 17:00~19:00

業務執行理事会

第1回業務執行理事会 平成26年5月16日（金） 15:00~16:00

第2回業務執行理事会 平成26年7月31日（木） 15:00~17:00

第3回業務執行理事会 平成26年9月19日（金） 14:00~19:00

第4回業務執行理事会 平成26年11月17日（月） 14:00~16:50

第5回業務執行理事会 平成27年1月16日（金） 18:30~22:00

第6回業務執行理事会 平成27年2月24日（火） 18:30~21:30

ブロック会議

ブロックリーダー会議	期 日	平成26年6月22日	会 場	茨城県立医療大学
水戸ブロック	: 期 日	平成26年7月16日	会 場	介護老人保健施設みがわ
つくばブロック	: 期 日	平成26年7月23日	会 場	筑波学園病院
日立ブロック	: 期 日	平成26年7月24日	会 場	多賀総合病院
取手・竜ヶ崎ブロック	: 期 日	平成26年7月24日	会 場	牛久愛和総合病院
筑西・下妻ブロック・古河・坂東ブロック合同				
	: 期 日	平成26年7月29日	会 場	結城病院
土浦ブロック	: 期 日	平成26年7月30日	会 場	土浦協同病院
鹿行ブロック	: 期 日	平成26年7月31日	会 場	鹿島病院
常陸太田・ひたちなかブロック				
	: 期 日	平成26年8月4日	会 場	ひたちなか総合病院

2014年度 会員動向について

庶務部 高橋 千晶

1、正会員・賛助会員

正会員数 1754名 (2015年3月31日現在)

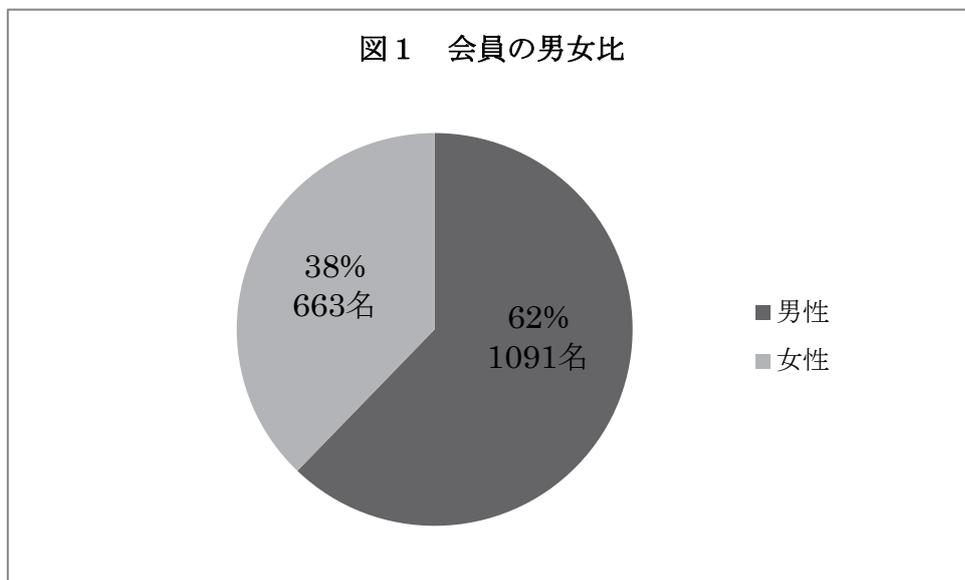
新入会 185名

転入 35名、 転出 49名、 県内異動 207名 、退会 32名、 休会 73名

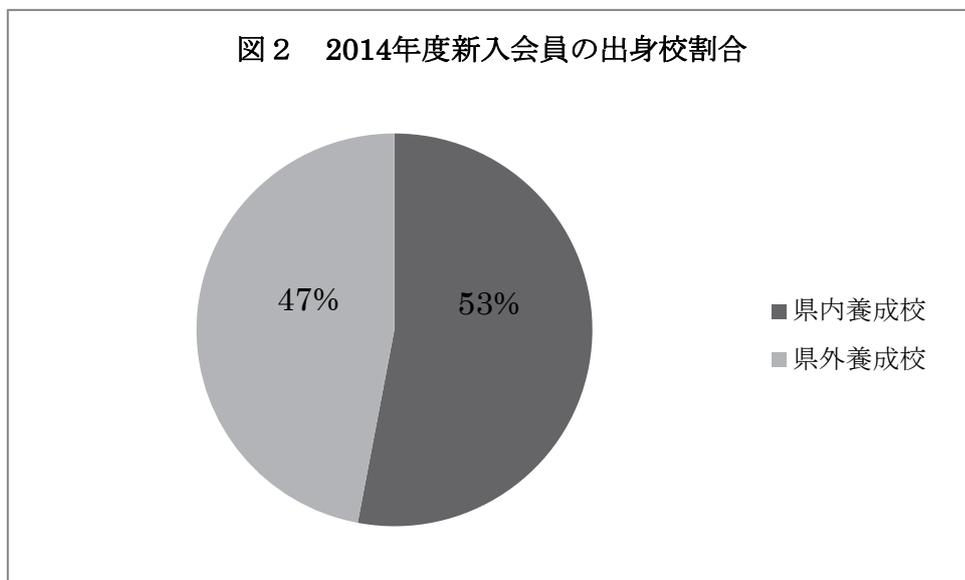
賛助会員 13社

2、会員データ

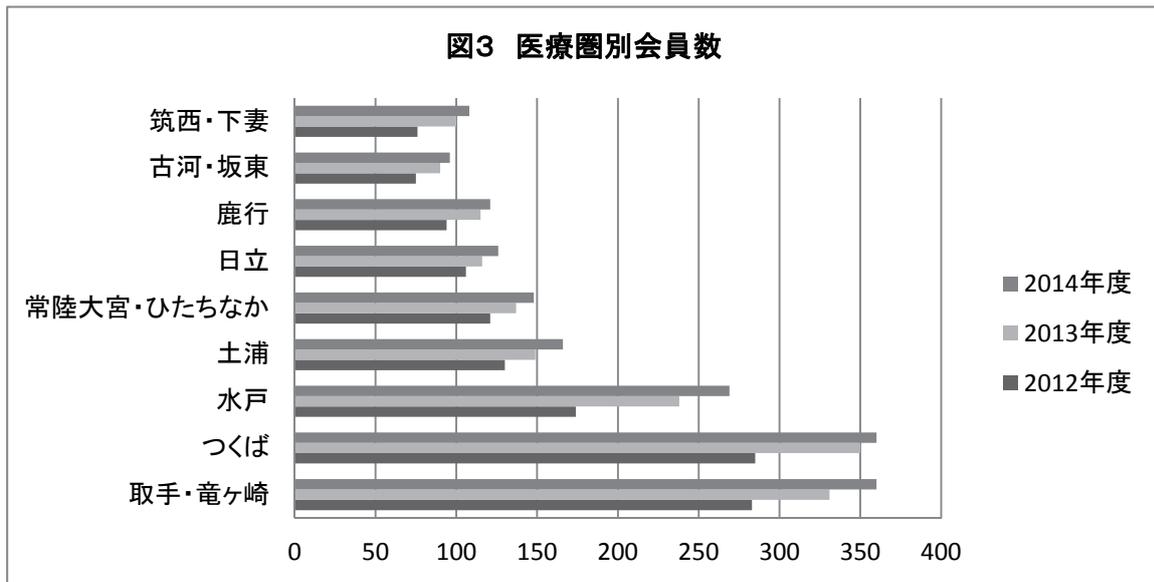
①会員の男女比 (図1)



②新入会員の出身校 (図2)



③医療圏別会員数（図3）



取手・竜ヶ崎：龍ヶ崎市、取手市、牛久市、稲敷市、守谷市、阿見町、河内町、利根町、美浦村

つくば：つくば市、つくばみらい市、常総市

水戸：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町

土浦：土浦市、石岡市、かすみがうら市

常陸大宮・ひたちなか：常陸太田市、常陸大宮市、ひたちなか市、那珂市、大子町、東海村

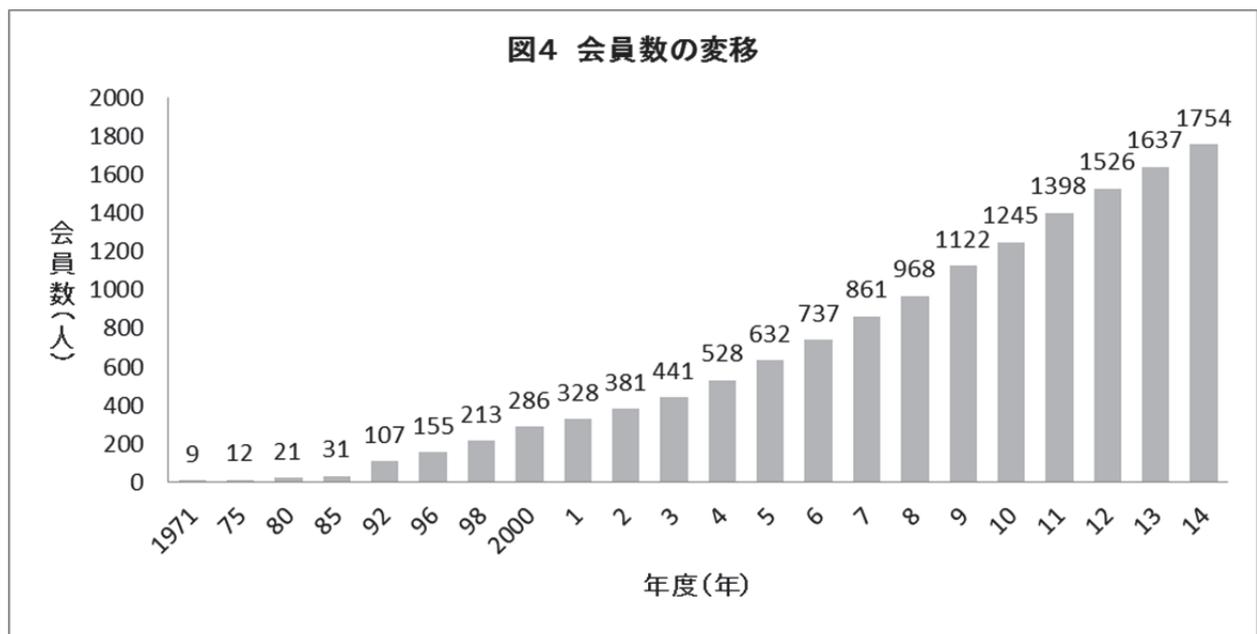
日立：日立市、高萩市、北茨城市

鹿行：鹿嶋市、鉾田市、神栖市、行方市、潮来市

古河・坂東：古河市、坂東市、五霞町、境町

筑西・下妻：筑西市、下妻市、結城市、桜川市、八千代町

④会員数の変移（図4）



平成 26 年度役員・局長・部長・委員長・代議員名簿

役職名	理事	氏名	所属
会長	○	斉藤 秀之	筑波記念会
副会長	○	大曾根 賢一	筑波メディカルセンター病院
副会長	○	沼尻 一哉	茨城西南医療センター病院
副会長	○	金子 哲	水戸赤十字病院
事務局 局長	○	金子 哲	水戸赤十字病院
総務部 部長	○	大地 寛	(株)日立製作所日立総合病院
庶務部 部長		高橋 千晶	水戸済生会総合病院
財務部 部長		中山 陽介	茨城西南医療センター病院
厚生部 部長		青木葉 尚子	笠間市医師会訪問看護ステーション
就業支援部 部長		関口 春美	アール医療福祉専門学校
学術・教育局 局長		富田 和秀	茨城県立医療大学
学会・研究部 部長	○	倉持 修	会田記念リハビリテーション病院
学術誌部 部長		高尾 敏文	つくば国際大学
生涯学習部 部長		千葉 浩市	つくばセントラル病院
卒前教育部 部長	○	浅野 信一	つくばセントラル病院
社会・職能局 局長	○	沼尻 一哉	茨城西南医療センター病院
公益事業推進部 部長		村田 康成	介護老人保健施設サン・テレーズ
地域医療福祉推進部 部長		所 圭吾	茨城県理学療法士会
渉外部 部長	○	直井 洋明	土浦市役所
業務推進部 部長		岸 昭博	介護老人保健施設鹿野苑
広報局 局長	○	高橋 晃弘	アール医療福祉専門学校
会報編集部 部長		森田 英隆	いちほら病院
情報システム部 部長		富澤 将人	牛尾病院
理学療法啓発部 部長		峯岸 忍	筑波メディカルセンター病院
特定事業局 局長	○	石塚 保人	(株)アルティー

委員会担当理事	○	大曾根 賢一	筑波メディカルセンター病院
定款組織検討委員会 委員長		浅川 育世	茨城県立医療大学
表彰委員会 委員長		前田 信道	JA とりで総合医療センター
スポーツ支援・国体参画特別 検討委員会 委員長		鈴木 康文	つくば国際大学
選挙管理委員会 委員長		橋本 貴幸	総合病院土浦協同病院
政治参加検討特別委員会 委員長		國谷 伸一	立川記念病院
監 事		黒澤 保壽	石岡循環器科脳神経外科病院
		橋本 英之	橋本会計事務所
日本理学療法士協会代議員		佐藤 弘行	(株)日立製作所日立総合病院
	○	大曾根 賢一	筑波メディカルセンター病院
	○	金子 哲	水戸赤十字病院
	○	沼尻 一哉	茨城西南医療センター病院
		松井 弘子	取手北相馬保健医療センター医師会病院
		金城 歩	古河市古河福祉の森診療所

平成 26 年度賛助会員名簿

社名	所在地	電話番号
医療法人社団青潤会 青柳病院	310-0817 茨城県水戸市柳町 2-10-11	029-231-2341
株式会社 茨城福祉サービス	315-0033 茨城県石岡市東光台 4-9-3	0299-28-1829
株式会社 幸和義肢研究所	305-0845 茨城県つくば市大白裕 341-1	029-875-7627
株式会社 三陽	310-0852 茨城県水戸市笠原町 1510	029-243-1281
株式会社 デベロ	310-0841 茨城県水戸市酒門町 1744-2	029-247-2211
株式会社 セキショウライフサポート	308-8512 茨城県筑西市一本松 1755-2	0296-25-3220
株式会社 東亜義肢	331-0062 埼玉県さいたま市西区土屋 515	048-622-6200
株式会社 ロングライフ	311-4164 茨城県水戸市谷津町細田 1-8	029-257-2345
帝人在宅医療株式会社 高崎支店 茨城営業所	305-0034 茨城県つくば市小野崎 260-1	029-855-7410
テクノブレイス株式会社	347-0063 埼玉県加須市久下 1696-1	0480-66-1033
有限会社 宮田製作所	185-0023 東京都国分寺市西元町 3-15-4	042-321-0684
有限会社 明星メディカルサプライ	300-0812 茨城県土浦市下高津 3-4-8	029-826-1371
有限会社 ヨシフク	310-0841 茨城県水戸市酒門町 1437-3	029-248-5307

(50 音順)

賛助会員広告

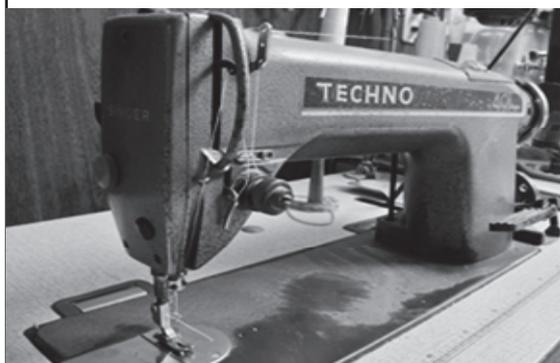
患者さんの
Quality of Lifeの向上が
テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD(XX)A4Q(TB)1201

T E C H N O B R A C E
テクノブレイス株式会社



☆取扱品目☆

- 整形外科治療用装具
- 整形靴・特殊靴
- リハビリテーション装具
- 義手・義足



〒347-0036 埼玉県加須市久下 1696-1
TEL 0480(66)1033 FAX 0480(65)0070
E-mail info@technobrace.com

<http://www.technobrace.com> 弊社へのアクセス情報や製品紹介をしております。ぜひご覧ください！

移動入浴車のリーディングカンパニー
福祉車両・入浴福祉のパイオニアとして



移動入浴車OB-3F4D(B)

1972年に世界で初めて移動入浴車を製造販売。訪問入浴介護は、介護保険制度における在宅サービスの一つとして全国的に普及を果しました。

デベロは、さらなる挑戦として、広い分野から技術・情報を取り入れた製品づくりを目指しております。

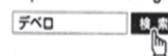


自宅ベッドの横で入浴を可能にしました

デベロ
(株)

本社 ☎310-0841 茨城県水戸市酒門町1744-2
☎029-247-2211 市 029-247-2214
大阪支店 ☎540-0004 大阪市中央区玉造2-3-17 (アルマ・ヒル301)
☎06-6945-1722 市 06-6945-1720

ホームページ <http://www.develo-group.co.jp>



介護用品・福祉機器 販売・レンタル
有限会社 ヨシフク

茨城県水戸市酒門町 1437-3

TEL 029-248-5307 FAX 029-248-0086

*介護保険指定福祉用具貸与事業所

元気で長生きを応援します。お気軽にお電話ください

株式会社 ロングライフ

福祉用具販売・レンタル・住宅改修・補聴器

営業時間 AM 9:00 ~ PM 5:00 (日曜日・祝日定休)



本社

介護保険指定事業所番号 0870101490

〒311-4164

茨城県水戸市谷津町細田 1-8

☎029-257-2345

土浦店

介護保険指定事業所番号 0870300472

〒300-0872

茨城県土浦市沖新田 40-5

☎029-841-2422

那珂店

介護保険指定事業所番号 0873300131

〒311-0105

茨城県那珂市菅谷 5487-4

☎029-295-7843

結城店

介護保険指定事業所番号 0870700259

〒307-0015

茨城県結城市鹿窪向原 1305-20

☎0296-34-1033



快適介護のお手伝い

◎福祉用具レンタル・販売 ◎住宅改修 ◎ストーマ装具
 明るく清潔なショールームでゆっくりとご相談ください

本社ショールーム

〒315-0033 石岡市東光台4-9-3

TEL (0299)28-1829

FAX (0299)26-8001

●営業時間 / AM9:00~PM5:00

●定休日 / 土曜日・日曜日・祝日

介護ショップ ひまわり

〒309-1705 笠間市東平2-1470-677

TEL (0296)78-0128

FAX (0296)77-0477

●営業時間 / AM9:00~PM5:00

●定休日 / 日曜日・祝日

介護保険指定事業所番号 第0870500022

株式会社 茨城福祉サービス



自立支援型デイサービスセンター

楽フィット 

【名称】 デイサービスセンター楽フィット筑西 【住所】 茨城県筑西市蕨 317-1
【TEL】 0296-25-2770 【営業】 月～金曜 【定員】 20名 【開設】 H24.12



パワーリハビリテーション
と個別機能訓練で機能訓練
に特化した元気になるため
のデイサービスです！



高齢者施設のイメージを払拭する、明るいトレーニングルームと、
ゆったりと寛ぐための空間が明確に分かれており、運動後はカフェ
にいるような気分でお仲間と楽しくお話しをしながら過ごせます。

理学療法士を募集しています！

※詳細はお気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社セキショウライフサポート TEL0296-25-3220

コルセット・義肢・義足・補装具・車椅子・松葉杖 製作

有限
会社

宮田製作所

〒185-0023 東京都国分寺市西元町 3 - 15 - 4

TEL.042(321)0684番 FAX.042(321)0692番



株式会社幸和義肢研究所

茨城県つくば市大白碓 341-1
TEL 029(875)7627 FAX 029(875)7628
<http://www.kowagishi.com>
info@kowagishi.com





人と職場のベストリレーション

水戸(029)243-1281

福島本社(0245)34-3155

株式会社

三陽

いわき (0246)27-7631

郡山 (0249)59-3662

会津 (0242)24-5211

取扱品目 医療機器・臨床検査機器・ME 機器・分析機器

〈関連会社〉 ホルター心電図解析センター
水戸カルディオセンター株式会社

TEL029(241)1155

医療法人社団青潤会 青柳病院

内科・外科・消化器科・循環器科・整形外科・等

〒310-0817 茨城県水戸市柳町2-10-11



TEL 029-231-2341

FAX 029-231-2350

URL www.aoyagi-hsp.com/



TOUA-PO

株式会社 東亜義肢

〒311-0062 埼玉県さいたま市西区土屋 515 TEL 048(622)6200 FAX 048(622)6662

HP <http://www.toua-po.com/> e-mail info@toua-po.com

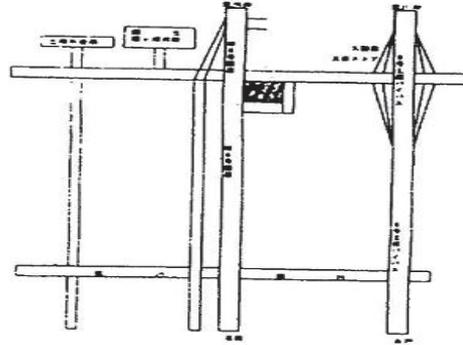
医療機器. 病棟備品. 福祉・介護用品

メイセイ
有限会社 明星メディカルサプライ

〒300-0812 土浦市下高津3-4-8

TEL (0298) **26-1371**

FAX (0298) **26-1372**



年報 ひたちの 2014

発行日：平成27年7月31日

発行人：公益社団法人 茨城県理学療法士会

代表者：斉藤秀之

事務局：〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号

茨城県保健衛生会館内

茨城県理学療法士会事務所

TEL 029-353-8474

FAX 029-353-8475

